

第4次静岡市食育推進計画における 重点事業実施計画個票

健康づくり推進課

目 次

1	元気で長生き栄養講座（葵・駿河・清水区役所健康支援課）	1
2	食生活サポート講座（葵・駿河・清水区役所健康支援課）	2
3	生活習慣病予防教室（静岡市食生活改善推進協議会）	3
4	食の安全教室（食品衛生課）	4
5	歯周病検診（健康づくり推進課）	5
6	楽しく子育て応援教室（静岡市食生活改善推進協議会）	6
7	公立こども園における食育推進事業（こども園運営課）	7
8	食に関する情報発信（学校給食課）	8
9	食に関する指導（学校給食課）	9
10	しずおかカラダにeat75（健康づくり推進課）	10
11	栄養素について学ぶ（静岡市私立幼稚園連合会）	11
12	食品ロス削減対策事業（ごみ減量推進課）	12
13	地場産物を取り入れた献立の提供（学校給食課）	13
14	地産地消活動（商店街・店頭販売）（清水農業協同組合）	14
15	しらすを食べる会（清水漁業協同組合）	15
16	生消菜言倶楽部（静岡市農業協同組合）	16
17	食育応援団（健康づくり推進課）	17
18	お茶の美味しい入れ方教室（農業政策課）	18

第4次静岡市食育推進計画における重点事業一覧

◎重点事業・・・計画の目標数値を達成する上で最も影響のある事業

基本方針	基本施策	No.	事業名	担当課・団体
心豊誰かなが食生活健康の実現	(1) 栄養バランスに配慮した食生活の実践	1	元気で長生き栄養講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
	(2) 適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践	2	食生活サポート講座	葵・駿河・清水区役所健康支援課
		3	生活習慣病予防教室	静岡市食生活改善推進協議会
	(3) 食品の安全・安心に関する知識の習得	4	食の安全教室	食品衛生課
	(4) よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進	5	歯周病検診	健康づくり推進課
		6	楽しく子育て応援教室	静岡市食生活改善推進協議会
若い世代が食の大切さを楽しく知る食育の推進	(5) 食育の普及啓発・情報発信	7	公立こども園における食育推進事業	こども園運営課
		8	食に関する情報発信	学校給食課
	(6) 規則正しい食習慣の実践	9	食に関する指導	学校給食課
		10	しずおかカラダにeat75	健康づくり推進課
		11	栄養素について学ぶ	静岡市私立幼稚園連合会
持続可能な食を支える環境の醸成	(7) 環境に配慮した食生活の実践	12	食品ロス削減対策事業	ごみ減量推進課
	(8) 地産地消の推進	13	地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食課
		14	地産地消活動（商店街・店頭販売）	清水農業協同組合
		15	しらすを食べる会	清水漁業協同組合
	(9) 農林漁業生産者と消費者との交流	16	生消菜言倶楽部	静岡市農業協同組合
	(10) 食文化の継承	17	食育応援団	健康づくり推進課
		18	お茶の美味しい入れ方教室	農業政策課

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	1 元気で長生き栄養講座							
担当課・団体	葵・駿河・清水区役所健康支援課							
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現							
主な基本施策	(1) 栄養バランスに配慮した食生活の実践							
主な第4次食育推進計画数値目標	・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合 60%以上							
取組内容	低栄養予防についての講話、簡単な調理実習・試食を行い、高齢期の食生活について学ぶ							
現状・課題	(現状) 参加者の理解度・満足度も高く、低栄養予防に関する知識の普及や共食の場となっている (課題) 参加者の確保							
令和12年度末目標値	教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	・調理実習、試食の実施により実践につなげ、共食の推進を図る ・参加者数を増やすため、生涯学習施設との共催やPR活動等を行う				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					A	計画は適切であった。		
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上				S	参加者の理解度・満足度ともに100%と、目標値を大きく上回った。		
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、「今後の生活にバランスのとれた食事を毎食食べることを取り入れたい」と回答する参加者の割合 75%以上				A	回答した参加者80%と、目標を達成した。		
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理実習・試食等を行う				A	計画通り実施した。		
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「バランスのとれた食事について理解できた」と回答する参加者の割合 80%以上				A	回答した参加者87%と、目標を達成した。		
令和7年度事業計画								
取組方針	年14回実施 低栄養予防に関する知識の普及							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、今後の生活に「バランスのとれた食事を毎食、食べること」や「自分にとって必要な食事を量を知って食べること」を取り入れたいと回答する参加者の割合 75%以上							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理実習・試食等を行う							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「バランスのとれた食事」や「低栄養状態のセルフチェック」、「自分にとって必要な食事を量」がよくわかったと回答する参加者の割合 80%以上							
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	講座の開催	14回						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	2 食生活サポート講座							
担当課・団体	葵・駿河・清水区役所健康支援課							
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現							
主な基本施策	(2) 適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践							
主な第4次食育推進計画数値目標	・生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合 75%以上							
取組内容	講話や調理体験を通して適切な食事を知り、生活習慣病の予防改善を行う							
現状・課題	(現状) 参加者の理解度・満足度も高く、適切な食事についての知識の普及ができている (課題) 参加者の確保							
令和12年度末目標値	教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	・年14回実施 ・食事量や食事バランスについての知識普及				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					A	計画は適切であった。		
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上				S	理解度100%、満足度99%と目標値を大きく上回った。		
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、「今後の食生活の中で適切な食事量を摂取していく」と回答する参加者の割合 60%以上				S	適切な食事量の摂取について回答した参加者80.4%と、目標を達成した。		
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理体験・試食等を行う				A	計画通り実施した。		
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「自分にあった食事の量が理解できた」と回答する参加者の割合 60%以上				S	自分に合った食事量の理解について回答した参加者82.4%と、目標を達成した。		
令和7年度事業計画								
取組方針	・年14回実施 ・食事量や食事バランスについての知識普及							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 教室アンケートにて参加者の理解度 80%以上、満足度 80%以上							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 教室アンケートより、今後の生活に「自分に合った食事の量」や「食事バランス(主食、主菜、副菜をそろえる等)」を生かそうと回答する参加者の割合 60%以上							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 家庭での実践につなげるため、レシピ配付や調理体験・試食等を行う							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 教室アンケートより、「自分にあった食事の量」や「食事バランス(主食、主菜、副菜をそろえる等)」、「メタボリックシンドロームについて」、「血圧・血糖値・コレステロールについて」がよくわかったと回答する参加者の割合 60%以上							
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	講座の開催	14回						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	3 生活習慣病予防教室							
担当課・団体	静岡市食生活改善推進協議会							
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現							
主な基本施策	(2) 適正体重や減塩等に配慮した食生活の実践							
主な第4次食育推進計画数値目標	・生活習慣病予防や改善のために、適切な食事や定期的な運動を継続して実施している市民の割合 75%以上							
取組内容	減塩料理を家庭でも実践できるよう、講話や調理実習を通して、生活習慣病予防のための知識を身につける							
現状・課題	(現状) 参加者の理解度・満足度も高く、適切な食事についての知識の普及ができている (課題) 参加者の確保、広報の工夫							
令和12年度末目標値	各地区で年1回以上開催し、減塩等の知識について啓発する							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	・年18回実施 ・減塩等の知識について啓発し、家庭での実践につなげる				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					C	第4次計画から「骨と体に良い料理教室」を別事業として掲載することになったが、評価指標が変更されていなかった。		
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 市食推協の全9地区において、年2回以上開催 市民が継続的に受講し、減塩等についての知識を学ぶ				B	上記理由により年1回の開催となったが、受講者は継続的に減塩等についての知識を学ぶことができた。		
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 自身の食生活において減塩の必要性などについて気づくことで、継続的に実践する参加者の増加				A	計画どおりに実施できた		
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食推協の各々の教室について周知し、活動について理解する市民の増加				A	計画どおりに実施できた		
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 減塩がなぜ必要なのか、減塩の工夫について知る参加者の増加				A	計画どおりに実施できた		
令和7年度事業計画								
取組方針	・年9回実施(各地区1回以上) ・減塩等の知識について啓発し、家庭での実践につなげる							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) ・市食推協の全9地区において、年2回以上開催 ・市民が継続的に受講し、減塩等についての知識を学ぶ							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 自身の食生活において減塩の必要性などについて気づくことで、継続的に実践する参加者の増加							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食推協の各々の教室について周知し、活動について理解する市民の増加							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 減塩がなぜ必要なのか、減塩の工夫について知る参加者の増加							
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教室の開催	9回						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名		4 食の安全教室						
担当課・団体		食品衛生課						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		(3) 食品の安全・安心に関する知識の習得						
主な第4次食育推進計画数値目標		・食品の安全性について基礎的知識を持つ市民の割合 70%以上						
取組内容		小学生等を対象に、食の安全に関する知識の向上が図られるよう、食中毒や添加物等の講話を行う						
現状・課題		(現状) 毎年一定数の教室の応募があり、概ね高い満足度を得ている (課題) 応募数によっては担当課の負担増となる場合もあるため調整が必要						
令和12年度末目標値		年9回の教室を開催し、食中毒・添加物等の知識について啓発する						
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針		・小学校等で食中毒・添加物等についての講話を年12回実施			評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					S	応募に応じて実施。目標12回に対して20回実施と期待を大幅に上回ったためS評価とした。		
結果目標 (アウトカム)		(達成したいゴールを具体的に示した目標) 受講後アンケートにて「今日の話を普段の生活に役立ててみたい」と回答した参加者 50%以上			S	「今日の話を普段の生活に役立ててみたい」生徒が94.1%と、目標の50%以上を大幅に上回ることができた。		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 受講後アンケートにて「家族に話してみたい」と回答した参加者 55%以上			S	「家族に話してみたい」生徒が91.6%、目標の55%以上を大幅に上回ることができた。		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食の安全教室をやむを得ない場合を除いて、100%依頼に応じる			A	依頼すべて(20回)に応じることができた。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 受講後アンケートにて「よくわかった・わかった」と回答した参加者 85%以上			S	「よくわかった・わかった」生徒が100%と、目標の85%以上を大幅に上回ることができた。		
令和7年度事業計画								
取組方針		小学校等で食中毒・添加物等についての講話を年12回実施						
結果目標 (アウトカム)		(達成したいゴールを具体的に示した目標) 受講後アンケートにて「今日の話を普段の生活に役立ててみたい」と回答した参加者 50%以上						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 受講後アンケートにて「家族に話してみたい」と回答した参加者 55%以上						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食の安全教室をやむを得ない場合を除いて、100%依頼に応じる						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 受講後アンケートにて「よくわかった・わかった」と回答した参加者 90%以上						
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	安全教室の開催	20回						
②								
③								

第 4 次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第 4 次計画策定時の状況								
事業名		5 歯周病検診						
担当課・団体		健康づくり推進課						
基本方針		誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現						
主な基本施策		（４）よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進						
主な第 4 次食育推進計画数値目標		・定期的に歯科健診を受診している市民の割合 85%以上						
取組内容		満40歳になる市民を対象に「無料の歯周病検診」を実施						
現状・課題		（現状）成人健診まるわかりガイドの配布を通じ、検診制度が市民へ周知されつつある （課題）受診者数増加のために、幅広い周知活動が必要						
令和12年度末目標値		成人健診まるわかりガイドの配布を通じ、検診制度を市民へ周知し、受診行動につながっている状態						
令和 6 年度事業計画				令和 6 年度事業評価				
取組方針		・ 検診の委託実施 検診制度の周知に加え、歯周病の恐ろしさに関する周知啓発		評価 (S~C)	評価の理由			
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。				B	歯周病の恐ろしさがテーマの動画を作成、「歯医者は痛くなってから行くもの、と思いませんか？」のリーフレットを作成し、周知啓発を行ったが、受診者数が想定よりも下回ったため			
結果目標 (アウトカム)		(達成したいゴールを具体的に示した目標) 歯周病検診を通じて、定期的な歯科健診の受診を促す		A	計画どおりに実施できた 理由：リーフレット作成、動画作成を行い、周知啓発を行ったため			
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 歯周病検診の受診者数の増加		C	歯周病検診976人前年度比545人減 受診者数が期待を大きく下回ったため、C評価			
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 「成人健診まるわかりガイド」を市民全世帯に配布 40歳を対象に無料受診券を送付するほか、トリプル健診無料受診券の送付		A	計画どおりに実施できた 理由：全戸配布の成人健診まるわかりガイドにて糖尿病と歯周病の関係性について周知、歯周病の恐ろしさがテーマの動画を作成しSNSを通じて啓発			
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 歯周病検診を受診することで、自身の口腔内状況を把握する		A	計画どおりに実施できた 理由：受診結果により、治療につながったり、予防のための定期的な受診につながりすることができた			
令和 7 年度事業計画								
取組方針		検診の委託実施 検診制度の周知に加え、歯周病の恐ろしさに関する周知啓発						
結果目標 (アウトカム)		(達成したいゴールを具体的に示した目標) 定期的な歯科健診の受診を促す						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 歯周病の恐ろしさに関する周知啓発により、歯周病検診の受診者数の増加 市民対象のアンケートを実施し、歯科の受診状況について把握						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 40歳を対象に無料受診券を送付するほか、特定×大腸無料受診券の送付、KDBを活用した歯科受診勧奨を行う						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 歯周病検診を受診することで、自身の口腔内状況を把握する						
令和 6 ～令和12年度 of 取組について								
計画予定		前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	受診者数	976人						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	6 楽しく子育て応援教室							
担当課・団体	静岡市食生活改善推進協議会							
基本方針	誰もが生涯健康で心豊かな食生活の実現							
主な基本施策	(4) よく噛んで食べることや楽しく食べる経験を通じた食生活の推進							
主な第4次食育推進計画数値目標	・毎日1回以上家族や友人等と一緒に食事をする市民の割合 85%以上							
取組内容	食育5つの力として、1 食べ物の味がわかる力 2 食べ物の命を感じる力 3 食べ物をえらぶ力 4 料理ができる力 5 元気なからだができる力を学び、おやつづくりなど料理をして子どもとその保護者が食を楽しむ場を提供							
現状・課題	(現状) 子どもの頃から望ましい食生活を実践できるような知識の普及に取り組んでいる (課題) 食に関心のない保護者にも参加をしてもらうための周知方法							
令和12年度末目標値	各地区で年1回以上開催し、共食の重要性等についても啓発する							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	・年15回実施 (ふじのくに食育教室も含む)				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					S	親子で楽しく料理教室や児童のみの教室など、予定より多く実施することができた。		
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 親子で食事を楽しむ機会の増加				A	計画どおりに実施できた		
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 子育て世代が家庭で実践しやすいレシピの提供を行い、親子で一緒に食卓を囲む機会につなげる				A	計画どおりに実施できた		
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食推協の各々の教室について周知し、活動について理解する市民の増加				A	計画どおりに実施できた		
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 子育て世代が食事作りの楽しさを知る				A	計画どおりに実施できた		
令和7年度事業計画								
取組方針	・年30回実施 (ふじのくに食育教室・子どものみを対象とした教室も含む)							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 親子で食事を楽しむ機会の増加							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 子育て世代が家庭で実践しやすいレシピの提供を行い、親子で一緒に食卓を囲む機会につなげる							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食推協の各々の教室について周知し、活動について理解する市民の増加							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 子育て世代が食事作りの楽しさを知る							
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教室の開催	30回						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	7 公立こども園における食育推進事業							
担当課・団体	こども園課							
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進							
主な基本施策	(5) 食育の普及啓発・情報発信							
主な第4次食育推進計画数値目標	・食育に関心を持つ若い世代の割合 85%以上 ・食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合 80%以上							
取組内容	体験や給食を通し、食習慣の取得の啓発を実施。食育日よりやしレシピを配布し、保護者への情報提供を行う							
現状・課題	(現状)「かむ力」についての食育活動が実施できている (課題)子どもの咀嚼力が弱く、継続的な支援が必要							
令和12年度末目標値	各こども園での食育活動の継続 子どもの食に関する課題を把握し、効果的に食育を実施							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	・「かむ力」の課題に対する食育を継続実施 ・各こども園の食育担当者等に対して食育活動の支援を行う				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					A	計画は適切であった		
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 以前と比べてよく噛んで食べるようになった子どもの割合の増加				A	計画通りに実施できた		
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) よく噛んで食べる(30回噛む、姿勢よく、両方の歯で)子どもの割合の増加				A	計画通りに実施できた		
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 全園で「よく噛んで食べよう」の食育を実施 かむことを意識した献立を月1回以上実施及びかみかみ献立提供日にはかみかみPOPを掲示し保護者へ情報提供				A	計画通りに実施できた		
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) よく噛んで食べることが大切だと感じるようになった子どもの増加				A	計画通りに実施できた		
令和7年度事業計画								
取組方針	・「かむ力」の課題に対する食育を継続実施 ・各こども園の食育担当者等に対して食育活動の支援を行う							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 以前と比べてよく噛んで食べるようになった子どもの割合の増加							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 姿勢よく、両方の歯で、30回以上噛んで食事をとることができる							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) かむことを意識した献立を月1回以上実施及びかみかみ献立提供日にはかみかみPOPを掲示し保護者へ情報提供 保育教諭や給食担当者が子どもに対して、よく噛んで食べることの声掛けを実施							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 全園で子どもに対し「よく噛んで食べよう」の食育を実施							
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	毎月、かみかみメニューの提供	毎月実施						
②	よく噛むことの食育活動の実施	54園						
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	8 食に関する情報発信
担当課・団体	学校給食課
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進
主な基本施策	(5) 食育の普及啓発・情報発信
主な第4次食育推進計画数値目標	・食育に関心を持つ若い世代の割合 85%以上 ・食に関する情報を得るために行動をする若い世代の割合 80%以上
取組内容	学校給食ウェブサイト等を活用して、食育に関わる情報全般を発信
現状・課題	(現状) R5に教育活動の中で学校給食ウェブサイト等を活用した学校の割合 13.4% (課題) 目標値の達成
令和12年度末目標値	教育活動の中で学校給食ウェブサイト等を活用した学校の割合 80%

令和6年度事業計画		令和6年度事業評価	
取組方針	教育活動の中で学校給食ウェブサイト等を活用した学校の割合 50%	評価 (S~C)	評価の理由
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。		A	取組としての実施目標は達成しているため。今後は内容の充実が課題。
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 学校給食ウェブサイト等を見たことがある児童生徒の割合 50%	A	令和6年度に実施した食育に関する児童生徒アンケートにおいて「今年度、インターネットを使って学校給食ウェブサイト等を見たことがある」との回答が54.1%だったため。
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 献立表による学校給食ウェブサイトの周知を年1回以上実施した学校給食施設の割合 100%	A	計画通りに実施できた。
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 学校給食課年刊紙「食事to健康」の年1回以上の作成及び学校給食ウェブサイトへのアップロード	A	計画通りに実施できた。
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 静岡市内の学校給食施設の栄養教諭等による、学校給食ウェブサイトへのブログ記事作成 年20回以上	A	計画通りに実施できた。

令和7年度事業計画

取組方針	各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 学校給食ウェブサイト等を見たことがある児童生徒の割合 50%
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 献立表による学校給食ウェブサイトの周知を年1回以上実施した学校給食施設の割合 100%
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 学校給食課年刊紙「食事to健康」の年1回以上の作成及び学校給食ウェブサイトへのアップロード
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 静岡市内の学校給食施設の栄養教諭等による、学校給食ウェブサイトへのブログ記事作成 年20回以上

令和6～令和12年度の取組について

計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教育活動の中で学校給食ウェブサイト等を活用した学校の割合	54.50%						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	9 食に関する指導							
担当課・団体	学校給食課							
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進							
主な基本施策	(6) 規則正しい食習慣の実践							
主な第4次食育推進計画数値目標	・栄養バランスに関わる食育を、栄養教諭・栄養士を活用して実施した学校の割合 100% ・学童期や思春期に関わる食育を実施した学校の割合 80%以上							
取組内容	栄養教諭・栄養士が児童生徒へ食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくよう支援							
現状・課題	(現状) R5に各学年1回以上実施した割合89.6%(126校中112校で実施) R5の小中学校別実施率 小学校92.7% 中学校83.6% (課題) 目標値の達成							
令和12年度末目標値	各学年1回以上実施した食に関する指導の割合95%(小学校94%、中学校85%)							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	各学年1回以上の「食に関する授業」を実施 各学校の状況に合わせて柔軟に対応する				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					A	取組としての実施目標は達成しているため。今後は内容の充実が課題。		
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 「好き嫌いなく食べようとしている」児童生徒の割合 60%以上				B	令和6年度に実施した食育に関する児童生徒アンケートにおいて「学校の給食をすきらいせず食べている」との回答が45.8%だったため。		
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 栄養教諭・栄養士を活用した食に関する指導を各学年1回以上実施				A	静岡市立の全小中学校の内、91.2%の学校(114校)で年1回以上「食に関する指導(栄養教諭等を活用)」が実施されたため。		
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食に関する指導の全体計画を作成している学校の割合 100%				A	静岡市公立全小中学校から令和6年度の食に関する指導の全体計画が提出されたため。		
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食に関する指導の全体計画作成において、各種調査結果(既存の調査、前年度評価指標とした項目を含む)、観察等に基づき、自校の児童生徒の実態を表す具体的な数値を記述している学校の割合 100%				B	提出された全体計画の内、具体的な数値を用いて自校の児童生徒の実態を表記していた学校が78.1%だったため。		
令和7年度事業計画								
取組方針	各学年1回以上の「食に関する授業」を実施。各学校の状況に合わせて柔軟に対応する							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 「好き嫌いなく食べようとしている」児童生徒の割合 60%以上							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 栄養教諭・栄養士を活用した食に関する指導を各学年1回以上実施							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食に関する指導の全体計画を作成している学校の割合 100%							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食に関する指導の全体計画作成において、各種調査結果(既存の調査、前年度評価指標とした項目を含む)、観察等に基づき、自校の児童生徒の実態を表す具体的な数値を記述している学校の割合 90%							
令和6～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	栄養教諭・栄養士によるTT授業	91.20%						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	10 しずおかカラダにeat75
担当課・団体	健康づくり推進課
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進
主な基本施策	(6) 規則正しい食習慣の実践
主な第4次食育推進計画数値目標	・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 50%以上
取組内容	民間事業者・高校・大学等と連携し、食育教室やイベントを開催。若い世代の「食」を通じた健康づくり事業を実施
現状・課題	(現状) 若い世代の食に関する課題が他年代と比べて、多い傾向にある (課題) 若い世代が健全な食生活を次世代へつなげていくことができる食育の推進
令和12年度末目標値	若い世代の食に関する課題解決を目的とした食育教室・イベント等を開催し、食育の普及啓発・情報発信をする

令和6年度事業計画		令和6年度事業評価	
取組方針	・大学と連携し、食堂を利用する学生を対象とした野菜摂取量測定会を実施する	評価 (S～C)	評価の理由
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。		A	静岡県立大学と連携し、計画通り野菜摂取量測定イベントを1回実施したため。
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 野菜が不足している学生が、頑張って食べるように意識する	A	実施後のアンケートで「不足しているので頑張って食べるようにしたい」と回答した学生が87%だったため。
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 大学の協力により、食堂を利用する学生に無償で野菜料理(1皿70g)を提供し、野菜1皿の目安を知る	A	アンケートに回答した学生の内98%が野菜の小鉢を実際に食べ、1皿の目安量を知ることができたため。
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 野菜の摂取状況を数値として見える化できる測定会を実施	A	ベジメータを使用したことで、自身の食生活に不足している緑黄色野菜の量を具体的に知ることができたため。
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 1日の目標野菜摂取量や野菜の上手なとり方について知る資料の配布 食育SATシステムを利用し、栄養バランスについても確認をする	A	食育漫画を配布し、具体的な野菜の摂取方法を周知できた。また、食育SATシステムを通して食事全体の栄養バランスを確認することができた。

令和7年度事業計画

取組方針	①大学と共催で野菜摂取を目的としたイベントを2回開催 ②高校での食育講座(郷土料理の伝承)を1回実施 ③新社会人向け食育講座を5回実施						
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) ①野菜が不足している学生が、頑張って食べるように意識する ②静岡市の郷土料理について関心をもち、積極的に食べるように意識する ③朝食を摂取の必要性を理解し、朝食摂取の習慣を身につける						
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) ①大学の協力により、食堂を利用する学生に無償で野菜料理(1皿70g)を提供し、野菜1皿の目安を知る ②郷土料理についての講義を通して関心を高め、調理実習を通して作り方を知る ③朝食摂取がテーマの講義、グループワークを通して自身の食生活を振り返る						
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) ①野菜の摂取状況を数値として見える化できる測定会を実施 ②調理実習を実施し、実際に郷土料理を調理・試食する機会を提供する ③ニーズに合わせた簡単朝食レシピを配布						
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) ①1日の目標野菜摂取量や野菜の上手なとり方について知る資料の配布。食育SATシステムを利用し、栄養バランスについても確認をする。 ②郷土料理に関する資料の配布。調理実習を通して、郷土料理の作り方や味を知る。 ③朝食の役割と、朝食摂取を実践するためのスキルを身につける。						

令和6～令和12年度の取組について

計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	食育教室・イベント等の開催	6回						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	11 栄養素について学ぶ							
担当課・団体	静岡市私立幼稚園連合会							
基本方針	若い世代が食を楽しみ、食の大切さを知る食育の推進							
主な基本施策	(6) 規則正しい食習慣の実践							
主な第4次食育推進計画数値目標	・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合 50%以上							
取組内容	乳幼児とその保護者に対し、3種類の栄養素について、身近な食材を用いて食育講話を行う							
現状・課題	(現状) 子どもに分かりやすく工夫して、伝えている (課題) 幼児のため理論的な理解は難しいため、興味が持てるような媒体等の検討							
令和12年度末目標値	各幼稚園で食育活動を実施							
令和6年度事業計画				令和6年度事業評価				
取組方針	食育に関して興味が持てるような教材を利用し、栄養素などを伝えていく			評価 (S~C)	評価の理由			
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。				A	計画は適切であった			
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 食べることに興味を持ち、栄養素について子どもなりに理解する			A	計画は適切であった			
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 給食だよりの3色に色分けされた使用材料の部分の説明を聞きながら、色を塗って確認する			A	計画は適切であった			
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 給食だよりを子どもでも読めるように、ひらがなで記載し、理解できるように作成する			A	計画通りに実施できた			
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 3つの食品群が持つ体への働きと、食べることに興味を持ち、食べることが自身の体づくりの土台となっていることを理解する			A	計画は適切であった			
令和7年度事業計画								
取組方針	食育に関して興味が持てるような教材を利用し、栄養素などを伝えていく							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 食べることに興味を持ち、栄養素について子どもなりに理解する							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 給食だよりの3色に色分けされた使用材料の部分の説明を聞きながら、色を塗って確認する							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 給食だよりを子どもでも読めるように、ひらがなで記載し、理解できるように作成する							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 3つの食品群が持つ体への働きと、食べることに興味を持ち、食べることが自身の体づくりの土台となっていることを理解する							
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	給食だよりの赤・緑・黄色の色塗り	実施						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	12 食品ロス削減対策事業							
担当課・団体	ごみ減量推進課							
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成							
主な基本施策	(7) 環境に配慮した食生活の実践							
主な第4次食育推進計画数値目標	・食品ロス削減のために行動をしている市民の割合 75%以上							
取組内容	ごみ削減講座の開催、30・10運動の推進等を通じて、食品ロス削減に対する意識向上を図り、ごみ減量を推進。							
現状・課題	(現状) 市民の食品ロス削減に対する意識向上を図っている。 (課題) 食べ物を残すことが「もったいない」という意識が薄れているため、意識を変革させる取組が必要。							
令和12年度末目標値	・食品ロス啓発機会の確保 年50回以上 ・市内事業者や団体との連携による幅広い啓発活動の実施							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	・フードドライブ啓発キャンペーン 年2回実施 ・出前講座 年40回実施 ・Instagramでの食品ロス削減啓発に関連する投稿 年10回実施				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					A	計画は適切であった。		
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 事業アンケート等により「食品ロス削減の取組を意識的にやっている」の回答率 80%以上				A	計画どおりに実施できた。		
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) スーパー等における「手前どり」の推奨や、「フードドライブ」への参加等について、イベントやキャンペーンで働きかける				S	計画を上回ることができた。		
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 家庭で発生している食品ロスの量を把握し、減量をしていけるように「食品ロス日記」を実施				B	「食品ロス日記」の周知については、出前講座などを通じて積極的に行うことができたが、実施に至る回数が少なかったため。		
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食品ロス削減に向けた意識の醸成を図るために、小・中・高校において出前授業を実施				S	計画を上回ることができた。		
令和7年度事業計画								
取組方針	・フードドライブ啓発キャンペーン 年2回実施 ・出前講座 年40回実施 ・Instagramでの食品ロス削減啓発に関連する投稿 年10回実施							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 事業アンケート等により「食品ロス削減の取組を意識的にやっている」の回答率 80%以上							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) スーパー等における「手前どり」の推奨や、「フードドライブ」への参加等について、イベントやキャンペーンで働きかける							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食品ロスに関する情報をInstagramにて定期的に発信する							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 食品ロス削減に向けた意識の醸成を図るために、小・中・高校において出前授業を実施							
令和6～令和12年度 of 取組について								
計画予定		前期	前期	前期 (中間見直し)	後期	後期	後期 (アンケート調査)	後期 (最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	食品ロス啓発機会の確保	14回						
②	他団体との連携による啓発活動	133回						
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況	
事業名	13 地場産物を取り入れた献立の提供
担当課・団体	学校給食課
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	(8) 地産地消の推進
主な第4次食育推進計画数値目標	・地元（静岡市）で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上 ・地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合 35%以上 ・郷土食・伝統料理を月1回以上食べている市民の割合 30%以上
取組内容	県内産食材や地域の食文化を生かした献立を提供する
現状・課題	（現状） 学校給食における地産地消率 41.3%（6、11月のふるさと給食週間に調査） （課題） 地産地消率を伸ばすことは条件的に困難であり、維持を目指している
令和12年度末目標値	静岡市の学校給食における地産地消率40%台を維持

令和6年度事業計画		令和6年度事業評価	
取組方針	静岡市の学校給食における地産地消率40%以上（経年評価）	評価 (S~C)	評価の理由
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。		A	数値的目標は達成しているため。今後は実施の先の児童生徒の行動変容が課題。
結果目標 (アウトカム)	（達成したいゴールを具体的に示した目標） 学校給食で使われている地場産物や郷土食について知っている児童生徒の割合 45%	C	令和6年度に実施した食育に関する児童生徒アンケートにおいて「学校の給食で静岡の食べ物が使われているか確認して食べることが出来ている」との回答が19.1%だったため。
行動目標	（結果目標を達成するための行動に関わる目標） 地域の地場産物や食文化について話題にしている学校の割合 43%	S	令和6年度に食育推進状況調査において「地元の食べ物に関する食育を実施した」との回答が67.5%だったため。
環境目標	（行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか） ふるさと給食週間における地産地消40%以上	A	令和6年度の学校給食に地場産物を活用する割合が41.1%であったため。
学習目標	（行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標） 静岡の食べ物を知っている児童生徒の割合 72%	C	令和6年度に実施した食育に関する児童生徒アンケートにおいて「静岡の食べ物についての学習内容を覚えている」との回答が35.3%だったため。

令和7年度事業計画	
取組方針	静岡市の学校給食における地産地消率40%以上（経年評価）
結果目標 (アウトカム)	（達成したいゴールを具体的に示した目標） 学校給食で使われている地場産物や郷土食について知っている児童生徒の割合 30%
行動目標	（結果目標を達成するための行動に関わる目標） 地域の地場産物や食文化について話題にしている学校の割合 70%
環境目標	（行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか） ふるさと給食週間における地産地消40%以上
学習目標	（行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標） 静岡の食べ物を知っている児童生徒の割合 50%

令和 6 ～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	ふるさと給食週間の実施	学校給食全調理施設において実施						
②	ふるさと給食の日の実施	学校給食全調理施設において実施						
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名	14 地産地消活動（商店街・店頭販売）							
担当課・団体	清水農業協同組合							
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成							
主な基本施策	（8）地産地消の推進							
主な第4次食育推進計画数値目標	・地元（静岡市）で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上							
取組内容	地場産品の販売							
現状・課題	（現状）各地域女性組織を中心に活動 （課題）継続実施							
令和12年度末目標値	・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する							
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針	・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する				評価 （S～C）	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					A	計画どおり実施出来た。		
結果目標 （アウトカム）	（達成したいゴールを具体的に示した目標） 継続して今後も13組織で販売する				A	計画どおり実施出来た。		
行動目標	（結果目標を達成するための行動に関わる目標） 研修会等への参加				A	計画どおり実施出来た。		
環境目標	（行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか） 地域の消費者へ食料の安定供給と地産地消の増進を図る				A	計画どおり実施出来た。		
学習目標	（行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標） 組織ごと来店客との交流を通じて、地域の消費者が求める農産物が何かを知り、組織で共有する				A	計画どおり実施出来た。		
令和7年度事業計画								
取組方針	・継続実施する ・各地域女性組織中心に活動する							
結果目標 （アウトカム）	（達成したいゴールを具体的に示した目標） 継続して今後も13組織で販売する							
行動目標	（結果目標を達成するための行動に関わる目標） 研修会等への参加							
環境目標	（行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか） 地域の消費者へ食料の安定供給と地産地消の増進を図る							
学習目標	（行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標） 組織ごと来店客との交流を通じて、地域の消費者が求める農産物が何かを知り、組織で共有する							
令和6～令和12年度の実績について								
計画予定		前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	地場産品の販売	実施						
②								
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第4次計画策定時の状況								
事業名		15 しらすを食べる会						
担当課・団体		清水漁業協同組合						
基本方針		持続可能な食を支える環境の醸成						
主な基本施策		(8) 地産地消の推進						
主な第4次食育推進計画数値目標		・地元(静岡市)で生産されたものを日頃から購入するようにしている市民の割合 30%以上						
取組内容		より多くの方に、しらすなどの静岡市水産物の良さを知ってもらい、消費者と生産者を結び付け、地元の水産物に触れる機会を提供						
現状・課題		(現状) 近年、しらす漁不漁が続き魚価高騰のため、原魚確保が困難 (課題) しらすの好不漁があり、生しらすの提供ができるか不明						
令和12年度末目標値		・地元ブランド(しらす)の普及啓発の継続						
令和6年度事業計画					令和6年度事業評価			
取組方針		・地元ブランド(しらす)の普及啓発の継続			評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					B	例年シラスが不漁続きのため、原価が高騰し事業継続が困難になっていく。		
結果目標 (アウトカム)		(達成したいゴールを具体的に示した目標) 地元ブランド(しらす)の普及啓発			A	計画通りに実施できた		
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標) イベントを計画通りに実施する			A	計画通りに実施できた		
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか) イベント主催者と協議しながら、PR活動を実施			A	計画通り実施し、用宗のしらすをPRできた。		
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) イベントで試食や体験等を通して、地元の水産物について知ってもらう			A	不漁ながらも生シラス34kg、釜揚げシラスを30kg提供できた		
令和7年度事業計画								
取組方針		不漁のため現在検討中						
結果目標 (アウトカム)		(達成したいゴールを具体的に示した目標)						
行動目標		(結果目標を達成するための行動に関わる目標)						
環境目標		(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにするのか)						
学習目標		(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標)						
令和6～令和12年度の実施について								
計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	イベントの開催	実施						
②								
③								

第 4 次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第 4 次計画策定時の状況								
事業名	16 生消費言倶楽部（せいしょうなごんくらぶ）							
担当課・団体	静岡市農業協同組合							
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成							
主な基本施策	（9）農林漁業生産者と消費者との交流							
主な第 4 次食育推進計画数値目標	・農林漁業体験をしたことがある市民の割合 40%以上							
取組内容	生産者と消費者による農作業や加工品作りの実施や意見交換を行う							
現状・課題	（現状）大豆やサツマイモのつるさしから収穫まで、一連の農作業を行っている （課題）女性部の高齢化に伴い、実施方法等を検討する必要がある							
令和12年度末目標値	年間 7 回開催、参加者200人目標							
令和 6 年度事業計画					令和 6 年度事業評価			
取組方針	農産物の栽培から収穫を通して、生産者と消費者が意見交換し、農業への理解を深め、地産地消を推進する				評価 (S~C)	評価の理由		
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。					A	参加しやすい、また、参加したくなるような内容で計画できた。		
結果目標 (アウトカム)	（達成したいゴールを具体的に示した目標） 年間コースの参加 80%以上				C	全7回の参加率67%。		
行動目標	（結果目標を達成するための行動に関わる目標） 参加者が地元の農産物を前年度より多く購入する				A	会の前後に販売所で買い物をしている。		
環境目標	（行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか） 参加者が市産農産物を理解する場所を提供する				A	生産者が毎回販売所の作目出荷状況を説明することで、市農産物の作況を理解できた。		
学習目標	（行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標） 参加者が農業に対して理解度を深める 80%				A	〃		
令和 7 年度事業計画								
取組方針	継続実施。 農産物の栽培から収穫を通して、生産者と消費者が意見交換し、農業への理解を深め、地産地消を推進する。							
結果目標 (アウトカム)	（達成したいゴールを具体的に示した目標） 年間コースの参加 70%以上							
行動目標	（結果目標を達成するための行動に関わる目標） 参加者が地元の農産物を前年度より多く購入する。							
環境目標	（行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか） 参加者が市農産物を理解する場所を提供する。							
学習目標	（行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標） 参加者が農業に対して理解を深める。							
令和 6 ～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	農作業体験	実施						
②	料理教室	実施						
③								

第4次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票

第4次計画策定時の状況

事業名	17 食育応援団
担当課・団体	健康づくり推進課
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成
主な基本施策	(10) 食文化の継承
主な第4次食育推進計画数値目標	・食育の推進に関わるボランティア団体等において活動する市民の数 1,500人以上 ・地域や家庭で受け継がれた伝統的な料理や作法などを継承している市民の割合 35%以上
取組内容	食育に取り組む市民からの依頼によりその内容にあった応援団を紹介する
現状・課題	(現状) 応援団講師の数が年々減少傾向にあり、一部の講師に負担がかかる場合がある (課題) 応援団講師を増やしていくことが課題
令和12年度末目標値	食育応援団パンフレットの作成及び配布、応援団派遣件数50件、応援団講師の新規登録

令和6年度事業計画		令和6年度事業評価	
取組方針	・食育応援団パンフレットの作成及び配布 ・応援団派遣件数 50件	評価 (S~C)	評価の理由
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。		A	計画通りパンフレットの作成及び配布、応援団が派遣をできたため。また、新規応援団を2名・1団体獲得できたため。
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 食育応援団派遣件数 50件以上	S	67件の依頼の内、2件は日程が折り合わずキャンセルとなったが、目標を大幅に上回る65件を派遣できたため。
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 参加者が自身の食生活等に活かしていきたいとの感想をもつ (実施報告書)	A	98%の依頼者が食に関する興味関心や、知識を深めることができたため。
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 食育応援団の活動について市のSNS等で紹介したり、応援団パンフレットを配布し、市民へ周知する	A	食育応援団パンフレットを約1400部配布し、広く周知できたため。SNSは掲載条件の厳格化により掲載できなかったが、HPでの周知を実施したため。
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 市民の継続的な食に関する知識を得る機会を増やす 分かりやすいパンフレットの作成・配布	A	同年度内の再依頼や、例年のリピーター利用もあり、継続的な支援を実施できているため。

令和7年度事業計画

取組方針	依頼に応じた食育応援団の派遣を継続実施し、食育の普及啓発を行う
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 食育応援団派遣件数 50件以上
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 食育応援団の活動について市のHP等で紹介したり、パンフレットを配布し、市民へ周知する
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 講師数増加のため、パンフレット配布や市HPに応援団講師の募集を掲載する
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 市民の継続的な食に関する知識を得る機会を増やす 分かりやすいパンフレットの作成・配布

令和6～令和12年度の取組について

計画予定		前期	前期	前期(中間見直し)	後期	後期	後期(アンケート調査)	後期(最終年度)
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	応援団派遣件数	65件						
②								
③								

第 4 次静岡市食育推進計画における重点事業実施計画個票								
第 4 次計画策定時の状況								
事業名	18 お茶の美味しい入れ方教室							
担当課・団体	農業政策課							
基本方針	持続可能な食を支える環境の醸成							
主な基本施策	(10) 食文化の継承							
主な第 4 次食育推進計画数値目標	・茶葉から入れた緑茶を飲む市民の割合 60%以上							
取組内容	小学生が一人ひとり茶器に触れ、茶葉でお茶を入れる体験を実施し、お茶の飲み比べや味の違いを体験する							
現状・課題	(現状) 毎年多くの学校が希望し、実施後の満足度が高い (課題) 事業実施スケジュールとカリキュラムの関係で未実施になってしまう学校がある							
令和12年度末目標値	お茶の美味しい入れ方教室を希望する全ての市内小学校で実施							
令和 6 年度事業計画				令和 6 年度事業評価				
取組方針	希望する小学校に日本茶インストラクターを講師として派遣し、お茶の美味しい入れ方教室を実施する			評価 (S~C)	評価の理由			
取組方針に基づき、事業計画が適切に立てられていたか。				A	取組方針に基づき希望校全校で教室を実施した。			
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 家計調査において、二人以上の世帯における茶葉購入量が2,400gになる			C	購入量は目標に対し60%であった。また、目標が「食文化の継承」として馴染まないものであった。			
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 授業を受けた児童が、お茶に関心を持つことで、家庭でお茶を飲む機会の増加			A	計画どおり実施できた。			
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 授業を受けた児童と保護者にとって、お茶が親しいものになる			A	計画どおり実施できた。			
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) 授業を受けた児童及び保護者がお茶の美味しい入れ方と静岡市の歴史や文化を理解する			A	計画どおり実施できた。			
令和 7 年度事業計画								
取組方針	静岡市内小学校全87校へ希望調査を取り、お茶の美味しい入れ方教室を希望するすべての市内小学校で実施。							
結果目標 (アウトカム)	(達成したいゴールを具体的に示した目標) 授業を受けた児童が今後も急須で入れたお茶を飲みたいと思う割合が60%。(実施後アンケート) 変更理由：令和 6 年度の結果目標（茶葉の購入量）は、基本施策である「食文化の継承」の目標として馴染まないため、第 4 次食育推進計画の数値目標（茶葉から入れた緑茶を飲む市民の割合）に合う目標に変更した。							
行動目標	(結果目標を達成するための行動に関わる目標) 授業を受けた児童が、家庭でお茶を飲む機会が増えた割合が60%。(実施後アンケート)							
環境目標	(行動変容を促すために、どんな環境をどのようにつくるのか) 授業を受けた児童が、家庭で保護者と教室の復習ができるように一煎パックを配布する。							
学習目標	(行動目標を達成するための知識、スキル、意欲に関わる目標) お茶の美味しい入れ方と静岡市のお茶について学ぶ授業を実施する。							
令和 6 ～令和12年度の取組について								
計画予定		前期	前期	前期（中間見直し）	後期	後期	後期（アンケート調査）	後期（最終年度）
評価指標／年度		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
①	教室の実施	70校実施						
②								
③								